

番号	年月日	教師の体罰やしっ責によると思われる自殺(未遂5件を含む)	有形暴力
1	1952/4/25	東京都世田谷区の国立東京学芸大学附属世田谷中学校で中学校の教室で、図画の教師が生徒に静かにするよう注意したところ、男子生徒(中2・13)が咳払いをしたので、「ふざけるな」と注意。男子生徒は「寒い時に口から出るのは当たり前」と言い返し、隣の席の生徒も同調。教師は咳をした男子生徒を殴ったうえ、2人を廊下に出した。直後、男子生徒が別校舎の屋上から飛び降り自殺。 人権擁護委員会は教師の「体罰」は認定したが、自殺との因果関係は確認できないとした。東京地検も教諭を不起訴処分。	あり
2	1955/7/5	兵庫県神戸市東灘区の東海道線で、本山第三小学校の赤田治男くん(小2・8)が鉄道自殺。授業中、隠しごっこをいたずらで、先生に「泥棒学校へ行け」と叱られたのが原因。自殺に誘われた友だちは直前に逃げて助かった。	なし
3	1955/12/16	茨城県北相馬郡取手町の茨城県立取手第二高校で、教師(33)が生徒の服装検査をおこなっていた際、女子生徒(高2)が、着ていた上着のボタンがうまくはずれなかったことから「チクシヨ」と独り言をつぶやいた。これを聞きつけた教師は立腹し、女子生徒を数度殴りつけた上、足蹴りするなどした。女子生徒は教師の実名をあげて「呪ってやる」と書いた遺書を残して農薬で服毒自殺。12/18死亡。	あり
4	1963/2/13	大阪府大阪市城東区の区立すみれ小学校の教室で授業中、男子児童Aくん(小6・12)が教室の窓から飛び降り自殺。 理科の時間に約2割の生徒が宿題を忘れ、女性教師(37)が、「Aくんは前の日も忘れでしたね。そんなに忘れるのなら一度、お家の人に学校に来てもらいます」と叱ったところ、真っ赤な顔をして頭をかかえ、すぐ横の窓から飛び降りた。	なし
5	1963/9/26	福岡県田川市の県立田川東高校の男子生徒Aくん(高3・17)が、担任教師(25)からの体罰の翌朝、自宅倉庫で首吊り自殺。「先生の仕打ちをうらむ。死んでも忘れない」との手紙を6通友人に出していた。 自殺の前日、男子生徒は他のクラスメイト2人とともに授業中私語をしていて立たされたあと、職員室で人文地理の成績が悪いことをあわせて叱られた。それを見ていた担任教師が理由をただし、次の授業のため教室に戻ろうとするAくんだけを残して、他の非行事実の告白を求めたり、反抗的な態度に対し「そんなことなら学校を辞めてしまえ」と叱責。他の教師も加わった。昼食抜きで、授業に出させず、反省を求めた。他の教師から喫煙やカンニング等も聞かされ、Aくんの頭を平手で数回殴打。明日、父親を出頭させるように言って、教室に帰っていた。 1審～高裁で、「教師が生徒に対して懲戒権を行使する場合には、それによって予期しうべき教育的効果と生徒の蒙るべき権利侵害の程度とを較量し教育上必要とされる教育の限界を逸脱することのないよう留意するべきである」「被害生徒と担任教諭との信頼関係が既に破壊されていたこと、本件非行の程度、被害生徒は既に担当教諭に適切な訓戒を受けて十分納得服従したばかりであったこと、懲戒の態様等を考慮して、本件懲戒は期待しえない不適切なものであるにとどまらず、生徒の権利侵害の程度もはなはだしいとして、懲戒の範囲を著しく逸脱した違法なもの」とした。ただし、自殺との因果関係を認めず、懲戒行為の慰謝料だけを認める。 1	あり
6	1972/8/24	北海道札幌市西区の中学校の男子生徒(中2・14)が、夏休みにガス自殺。 遺書に「僕は死にたい。先生は暴力教師、すぐびんたを張る。かっぱらいを何度もしたことがある。そのたびに十発も二十発もなぐられたことがある。ノートにウソを書いただけでなぐられたこともある。先生は一日三時間勉強しろと怒鳴る。だから死にたい。こんな先生がいる限り、僕は学校に行きたくない」と書いていた。	あり

		男子生徒は母子家庭で、数回の非行歴があった。教師は「ナイフで床を刺して遊んだりして目に余る行為があったので1、2度たたいたことがある」という。	
7	1973/9/3	埼玉県越谷市の自宅で、東京都立江北高校の山本有浩くん(高2・16)が感電自殺 6/8 有浩くんは、日教組批判の新聞記事を学校新聞に掲載しようとして、担任教師や新聞部の先輩に見つかり、集団リンチを受けた。顔や背中に大けがをし、11日間の入院。それ以降、登校していなかった。 遺書には「体育館で記事について責められ逃げ場がなくなった。助けてくれと叫んでも助けてくれるものはいなかった。死ねばみんなが喜んでくれるだろう」と書いていた。 学校や日教組は、リンチなどの暴力沙汰を否定。 10/11 被疑者不詳のまま、傷害罪で告発。	あり
8	1976/4/25	東京都江戸川区の区立中学校の女子生徒(中3・14)が、国電総武線に飛び込み自殺 10日ほど前、学校で行われたフォークダンスで男子生徒と手を握るのを嫌がって教師から注意されたことを気にしていたという。	なし
9	1976/12/7	福島県田村郡三春町組合立要田中学校の知的障がいのある男子生徒Aくん(中3・14)が遺書に「学校がこわい」と19回も繰り返して、自宅近くの葉タバコ乾燥小屋の中で首吊り自殺 学校で、公金と教師の貯金通帳と印鑑などが盗まれ、教師4人がAくん暴行を加えるなどして詰問、「白状するまで毎日、調べるぞ」と言われ、Aくんは犯行を認めた。その後、犯人が見つかったが、Aくんは再び共犯を疑われ、「犯人の名前を書け」と責められていた。 校長は引責辞職、教頭と教諭1人が戒告、他の3人の教師は文書戒告処分を受けた。 Aくんは家族に殺害されたとの噂がたつ。(警察は「鑑定の結果、自殺に疑いはない」とする。) 1992/11/ 福島市在住の映画監督が、同事件を題材に映画「ザザンボ」を製作。「家族による他殺」を示唆する内容になっていた。また、土葬の墓を掘り返していたことも判明。	あり
10	1978/2/未 未遂	東京都の中福小学校で、休憩時間に学校を抜け出して忘れ物を取りに帰宅する途中、同行の友人が所持するパチンコ玉を投げて近所の窓ガラスを割った男子児童Kくん(小6)が、生徒指導担当教師ら3人から厳しく詰問された直後、校舎3階の窓から飛び降り、全治約8か月の重傷 民事裁判で、男子児童側は「教師ら3人が教室前の廊下でKくんを取り囲み、45分間にわたって、Kくんに不利益な供述を強要した。特にT教師は、初めからKくんひとりで故意にこの事件を起こしたと決めつけ、Kくんに弁解の機会を与えず、『ほんとうならここでぶっとばされても仕方ないんだぞ』『指紋をとれば犯人はすぐ分かるんだぞ』『おまえがしゃべらなければ、学校の体育館のガラスが割られた事件もお前のせいにするぞ』などと言った。さらにT教師は、Kくんのほうに体を寄せ、『お前がやったんだろう』と言いながら、Kくんの胸や腹を手拳で2、3回、後ろに倒れそうになるくらい強く突いた。」と主張、学校側は「情聴取の時間はせいぜい15分くらい。教師が「手を前に出した際、一度、手が原告(Kくん)の腹部に触れた程度。」と主張 1982/2/16 東京地裁は教師側の言い分を認め、教師らの違法性を否定して棄却。	あり
11	1978/10/31	東京都府中市の市立住吉小学校の教室で、女子児童(小4・9)が首吊り自殺 この日は給食調理員の時限ストで、生徒たちは弁当を持参していた。3時限目の授業が終わった休憩時間に女子児童が口をもぐもぐさせていたことから、男子児童2人が「弁当を食べたろう」とはやし立てた。女子児童は「食べていない」と言って、黒板消しで男児をたたき、筆箱や鉛筆を投げつけた。これを見た担任教師(28)に「そんな乱暴しちゃだめよ」と注意されていた。	なし

		府中市は、学校管理下に発覚した事件であるため、「日本学校安全会」に遺族への死亡見舞金を申請。一般死同様の1200万円の給付が決定した。はっきり自殺とわかるケースでの見舞金は初めて。	
12	1979/2/16	北海道苫小牧市の市立小学校の男子児童(小6・12)が、自宅風呂場で首吊り自殺 この日、学校で休み時間に、友人数人といたずらで火災報知器を鳴らし、教師から「いいか、悪いか、家に帰って考えろ」と叱られていた。	なし
13	1980/10/24	神奈川県相模原市の東海大学付属相模高校で、自転車の盗みを疑われた男子生徒(高1)が、校舎屋上から飛び降り自殺。	なし
14	1980/11/27	神奈川県鎌倉市で、「先生を恨む」と遺書を残し、男子生徒(高2・17)が焼身自殺。	不明
15	1982/7/17	長崎県長崎市西彼杵郡外海町の町立神浦中学校の男子生徒(中3・14)が、自宅で自殺。 1時間目の国語の授業中、教師(54)に、前日に出された宿題を「したけれど、できなかった」と申し出た。教師に往復4キロ、徒歩で往復1時間半かかる自宅にとりに行くと言われて帰った。午前10時すぎになっても男子生徒が教室に戻らないため、校長や担任、国語の教師らが自宅に行き、祖母と一緒に捜したところ、牛の飼料小屋で首を吊って死んでいるのを発見。遺体の横に、「しぬ」と鉛筆で走り書きした国語のノートがあった。 教師は宿題を他の生徒も忘れたかどうか確認せず、自ら申し出た男子生徒だけを叱り、ノートを取りに帰らせていた。 1983/ 両親が、「先生の屈辱的なしかり方が自殺を招いた」として、外海町を相手どって1000万円の損害賠償を求めて提訴。 1984/4/25 長崎地裁で、「忘れ物を取りに帰らせることも教育の一端として肯首できる」として懲戒行為の違法性を否定。「担当教諭の行為と生徒の自殺との間に常識的に考えられる因果関係はなく、自殺を予見することも不可能だった」として棄却。	なし
16	1984/12/3	長野県北安曇郡松川村の村立松川中学校の尾山奈々さん(中3・15)が、自宅裏の物置で制服のまま首吊り自殺。 自殺する前に、学校と所属している英語クラブの顧問にあての「抗議文」を書いて、教室の机の中に入れていた。 顧問は英語クラブの活動を1年生の基礎からやり直す「授業」のような形でやろうとしていたが、奈々さんは授業と同じ形にしないでほしいと考えていた。顧問はあくまでも方針を変えず、奈々さんは次第に反抗的態度を示すようになっていた。顧問は他の生徒がいる前で、「あの子は前はあんな子じゃなかった。どうしてあんな子になってしまったんだろう。前のように良い子になるまで待つわ」と言っていた。奈々さんは、9月に入ってたびたび、「死」を口にだしていたが、友人たちは冗談だと受け止めていた。	なし
17	1985/2/16	神奈川県横浜市金沢区の小学校の杉本治くん(小5・11)が、「S/60・2・16 12・24・36 オークン死去」、「マー先生のバカ」という言葉と級友4人の名前をフェルトペンで残して、団地踊り場から飛び降り自殺。 男子児童が廊下の流しを詰ませた際、咎めた教師に対し、治くんが「学校を破壊しよう」と言ったからと答えた。女性担任に呼ばれた治くんは詰問され、「学校を破壊しよう」などとは言っていない、「学校を破産させれば、勉強をしなくてもいいし、テストもなくなる」と言ったと答えた。担任は治くんを級友の前で約1時間にわたって、「将来、精神病院にいくなるようになる」などと言って厳しく責めた。その後、反省文を書くように言い渡していた。治くんは反省文を提出したあと、帰宅途中に近くの団地から飛び降りた。 治くんは、4年生で杉並区から転校してきた。学校や教師に対する不信を何度も作文に書いていた。	なし
18	1985/3/23	岐阜県恵那市の岐阜県立中津商業高校の竹内恵美さん(高2・17)が、陸上部顧問教師(46)	あり

		<p>の暴力的なシゴキや体罰を苦しんで自宅で首吊り自殺。 「お父さん、お母さん、私は疲れました。もうこれ以上、逃げ道はありません。なんで、他の子は楽しいクラブなのに、私はこんなに苦しまなければいけないの。たたかれるのも もうイヤ泣くのも もうイヤ」などと書いた遺書を残していた。</p> <p>自殺の前日、恵美さんは進級に必要な成績がとれず、追試試験を受けた。追試終了後の採点で無事進級が決まったが、期末試験で追試だったことに対し、陸上部顧問が体育教官室で1時間指導。続いて担任教師から勉強や部活動について1時間15分にわたって説諭。更に、午後3時すぎから2時間半、再び陸上部顧問から説諭。計4時間45分に及ぶ訓戒を受けた。</p> <p>その日、朝寝坊をして朝食抜きで家を出た恵美さんは、昼食もとれなかった。直立不動の姿勢をとり続け、罵声を浴びせられ、竹刀を突きつけられ、殴られた。</p> <p>恵美さんは、有望選手を集めた県陸協主催の強化合宿に参加する予定だったが、欠点を取ったあと、顧問の教師に「お前は(合宿に)連れて行かん」と言われショックを受けた。槍投げの練習もさせないと言われて、グラウンドの片すみでもいいから練習させて欲しいと懇願したが許されなかった。顧問は「お前なんかしらん。お前の顔など見たくない」などと言って帰宅。1年生の秋の岐阜県新人戦の女子槍投げで優勝。有望選手として特別厳しい練習を課せられていた。校内では「校則」を守らせる体育科教師グループのボスの存在で、部活動以外の生徒たちからも恐れられていた。</p> <p>1993/9/6 岐阜地裁で一部認容。体罰の違法性を認め、岐阜県に計300万円の慰謝料支払い命令。ただし、自殺と体罰の直接因果関係と、教師個人への賠償請求は認めなかった。確定。</p> <p>2</p>	
19	1987/4/23	<p>長野県長野市篠ノ井の市立篠ノ井西中学校の上原夕子さん(中2・13)が、自宅の2階で首吊り自殺。遺書には「みんな人の気持ちがわかってほしかった。ひどい」と書かれていた。</p> <p>いじめに悩む夕さんがいじめを相談するなかで、どこを直したらいじめられずにすむのか、クラスメイトの自分への気持ちが知りたいと言ったことから、担任教師は道徳の授業中に、夕さんを別室で待たせたうえ、クラス全員に「上原さんの何がイヤなのか」をテーマに匿名で作文を書かせた。集めた作文を担任は目を通したうえで、その約半分(約20編)を本人に手渡した。</p> <p>1987/8/10 長野市は「教育的配慮が足りない面があった」として、遺族に700万円を支払うことを決定。こうした措置が取られるのはきわめて異例。</p>	なし
20	1989/3/13	<p>香川県大野原町で、県立高校の男子生徒(高1)が、自宅近くのビニールハウス内で首吊り自殺。「反省日記」と題をつけたノートがあり、バイクの無免許運転で無期停学を受けたことを「とてもつらかった」と書いていた。</p>	なし
21	1989/6/11	<p>群馬県赤堀町で、生徒指導の教師に喫煙が知れてしまったことから、男子生徒(中3)が厳しい指導を恐れて自殺。「先生へ」の遺書に、「一番さらいできにいいない みんなもそういつている ころしてとかいっているけどかちめないし 先生は口で言えばわかることを どうしてなくったりするんだらう そんなことをしなくてもいいのに そのことを考えるだけで やだ くそう」と書いて、生徒指導担当教諭が名指しされていた。</p> <p>友人3人と、生徒指導の教師に喫煙が知れてしまったことを話し合い、男子生徒は「殺されるかもしれない。一緒に死のう」と友だちを誘っていた。</p>	なし
22	1991/8/27	<p>青森県三戸郡で、中学校の女子生徒(中2・13)が自宅で農薬を飲み服毒自殺。部活動で顧問教師(29)から暴力をふるわれたことを「殺したかった」と遺書に残していた。</p>	あり
23	1991/9/25	<p>北海道赤平市立赤平中央中学校の女子生徒(中3・15)が、学校を休んで友人ら3人と河原に出かけて話しているうちに、「先生に注意された。死にたい」と言って入水自殺。友人らが止め</p>	なし

		<p>ようとしが間に合わなかった。同生徒は、5月から体調を崩し、9月に入って2回無断欠席。出席日数が不足して、担任の男性教師(47)に数回、注意されていた。</p> <p>9/24 前日にも午前中、女子生徒と友人1人を呼んで、担任が注意していた。</p>	
24	1991/11/12	<p>福井県吉田郡永平寺町の特殊学級の男子児童(小6)が自宅近くの納屋で首吊り自殺。遺書はなかった。</p> <p>男子児童は2、3日前、男性教師から「お前なんか死んでしまえ」と言われ、死ぬ前日にも友人から「首を吊ったらどうか」などと言われていた。当日、友人に「死にたい」と漏らしていた。</p>	なし
25	1992/2/22	<p>東京都東久留米市の市立中学校から、体罰が原因で別の中学校に転校して2日目に、女子生徒(中2)が自殺。</p> <p>1991/6/ Aさんは前の学校の林間学校で、就寝時間の見回りにきた女性教師から、「注意に対して反抗的な態度をとった」として、頬を強く殴られた。</p> <p>1992/1/ 授業が始まって教室に戻らなかったことから、同教師に「じゃまだから、学校に来るな」と言われ、一緒に注意を受けた別の女子生徒と、頭と頭をぶつけられた。</p> <p>Aさんは、女性教師のことを慕っていただけに強いショックを受け、その日から1週間、家出。帰宅後も同教師の授業を嫌がったため、親が転校させた。</p>	あり
26	1992/6/24	<p>島根県益田市の市立東陽中学校で、岡崎一(はじめ)くん(中3・14)が、自宅近くの雑木林で首吊り自殺。</p> <p>担任教師らは、下級生が行った万引きを、一くんが強要したのではないかと疑い、校内の放送室などで、一対一で3日間にわたって厳しく調べた。</p> <p>一くんは入学当時から同級生数名から集団暴力、無視、自転車をこわされる、けんかをさせられる、使い走りさせられるなどのいじめを受け、転校を申し出ている。学校側はいじめをやめさせるよう責任を持って努力するからと説得したが、その後もいじめは陰湿化し、続いていた。</p> <p>1993/1/11 両親が学校管理者の益田市を相手どって、3000万円の慰謝料を求めて提訴。</p> <p>1994/12/8 松江地裁益田支部で、原告側は金銭の要求等はすべて放棄し、学校側が「一くんが自殺したことは遺憾である」と表明することで和解。</p>	なし
27	1992/7/10	<p>大阪府箕面市の市立中学校の男子生徒(中2・13)が、自宅のあるマンション9階の踊り場から飛び降り自殺。</p> <p>同生徒はこの日、2時限目の授業中、同級生にからかわれたと相手の首筋を1、2回たたいたことから、休み時間に担任が注意。放課後、副担任も約20分間にわたって注意していた。</p>	なし
28	1993/10/13	<p>栃木県芳賀郡茂木町の町立茂木中学校の塩沢孝孝くん(中3)が、公園の休憩所で首吊り自殺。遺書に、「抗議として死の道を選ぶ。暴力を振るう先生と一緒にいたくない」「担任の先生に殴られた。気の弱い僕はプライドを傷つけられた。こんな先生を許すわけにはいかない。学校もおもしろくない。これ以上犠牲者を出したくない。この先生を許すことがないようにしてもらいたい。そうすれば学校は明るくなる」などと書かれていた。</p> <p>10/4 体育館で孝くんは、担任の男性教師から生活や学習指導上の問題を理由に、顔面を4発殴られ、左目のうえにあざができていた。同教師は事件までの半年間に、ほかの生徒に対しても、計8回の暴力をふるっていた。</p> <p>学校は1月以上たってから公表。体罰があったことは認めしたが、理由は「生徒のプライバシーにかかわるので明らかにできない」とのみ説明。両親に対しても、「授業態度が悪かったため」としか説明しない。教育委員会に提出した学校事故報告書には、体罰があったことや、抗議の遺書が残されていたことなどは書かれていなかった。</p>	あり
29	1994/9/9	<p>兵庫県龍野市立揖西小学校で、担任教師にぶたれた直後、内海平くん(小6・11)が自殺。</p> <p>同日、平くんが「運動会のポスターの絵、自分で考えたんでもええん」と質問したところ、教師は「3時限目に説明したやろ。何回同じことを言わずねん」と大声で怒鳴り、利き手の左手で</p>	あり

		<p>平くんの頭丁部を1回、両頬を往復で1回殴打。教師は一旦、教卓のほうに戻りかけたが、平くんが他の同級生の方を見て照れ笑いを浮かべたのを見て、馬鹿にされたと思い立腹し、「けじめつけんかい」と怒鳴りながら、再び、利き手の左平手で頭頂部を1回、両頬を往復で1回、口の中が切れるほど殴打。</p> <p>死亡事故報告書には「不明」と書いてあり、県教委は平くんの事件を自殺に計上しなかった。</p> <p>2000/1/31 神戸地裁姫路支部で原告勝訴判決。教諭による体罰や暴行が自殺の原因として行政責任が認められたのは初めて。市側の「ロープで遊んでいて、足場の悪いですが倒れたことも考えられる」との主張を退け、自殺と認定。</p> <p>3</p>	
30	1994/9/20	<p>福岡県福岡市の中学校の女子生徒(中3・14)が、学校で担任教師から盗みの指導を受けたあと、帰宅途中に「私が全部悪いんです。もう生きていく資格がないから死にます。」という内容の遺書を残して、高層団地から飛び降り自殺。</p> <p>女子生徒は入学当時、友人がほとんどできず、「同級生が悪魔に見える」などと家族に話していた。同級生の歓心をかうために、盗みをしてプレゼントを渡していた。</p> <p>指導目的で始めた交換日記に、女子生徒は「自分で自分の首をしめた」「何度も同じ事をし、信用を失われ、生きる価値もない人間なのだ。」「死ねるものなら死んでしまいたい。」と書いていたが、担任の女性教師(36)は、「この年代の子はしかられた時の気持ちはこういうものかな」と感想を抱いただけで、内容について生徒と話し合うことはなかった。</p>	なし
31	1994/10/24	<p>大阪府枚方市の私立女子高校の女子生徒(高1・16)が電車で飛び込み自殺。</p> <p>クラスで約1週間前に、カバンが紛失する騒ぎがあり、一部の同級生からこの生徒が盗ったのではないかと声があがった。担任教師が母親を呼んで事情を話し、母親が本人に聞いたのだが、女子生徒は担任に「私ではない」と答えていた。</p>	なし
32	1994/10/29	<p>鹿児島県出水市立米ノ津中学校の船島洋一くん(中3・14)が自宅の庭の木で首吊り自殺。</p> <p>夏休み前に、顔に怪我をしたり頭に大きなコブをつくって学校から帰ってきた。三者面談のときに担任に話すが、解決策はとられなかった。担任教師は、いじめがあったかどうかをクラスでアンケートをとった結果、何も出てこなかったため、担任はみんなの前で洋一くんに謝らせていた。</p> <p>校長は「怪我をさせた子はわからない、学校ではいっさい何もなかった」といじめを認めず、謝罪もなし。学校は生前のアンケートも、洋一くんの死後3年生全員にとったアンケートも開示せず、何もなかったから処分したと発言。アンケートに、「洋一くんはいじめられていたと書いた」という女子生徒の証言もあるが、学校側はいじめは一切なかったと断言。</p>	なし
33	1994/11/13	<p>大阪府羽曳野市立河原城中学校で、ソフトボール部の副キャプテンの青木亜也子さん(中2・13)が、顧問の男性教師(35)らから叱責された翌朝、自室でユニホーム姿で自殺。「おかあさん、ごめんな クラブもうつぶせられへんねん」という遺書を残していた。</p> <p>亜也さんは、練習試合で送球ミスなどが重なり、「同じミスばかりするな」と怒られ、途中で交替させられた。試合後、顧問の男性教師と他の2年生たちとともに、「明日の公式試合に來なくてええ。背番号も返せ。(試合に)出せへんからな」と言われた。同部は西日本大会優勝の実績のある強豪チームだった。</p> <p>1994/11/15 学校が遺族に他の部員の親や顧問2人から事情を聞いて作成した見解書(B5判で7枚分)を渡す。指導の「過熱」が亜也子さんを死に追いやったと認め、「顧問への信頼感が全くなっていたと判断される。心身とも疲れさせ、自ら命を断たせるに至った原因は明らかに学校にあると判断される」と書いていた。</p>	なし
34	1994/11/14	<p>神奈川県横浜市の市立中学校の男子生徒(中3・15)が、電車で飛び込み自殺。</p> <p>11/11 同生徒は同級生ら10人と同学年の男子生徒(中1)に、殴るけるの暴行を加えて全身に1週間の打撲傷を負わせた。自殺当日、担任教師が母親を呼んで注意。帰宅後に自殺し</p>	なし

		た。私立高校への推薦入学を取り消されるのではと思い悩んだのではないかとみられる。	
35	1995/8/4	<p>長崎県長崎市で、県立高校の男子生徒(高3・18)が飛び降り自殺。両親あてに「何も悪いことはしていないのに、教師から怒鳴られ、目の前が真っ暗になった」「40分間怒鳴られた」「(ほかの生徒の前で)とんでもないやつだと言われた」と教師3人を非難する遺書を郵送していた。</p> <p>夏休みの補習中、机やいすを運ぶ作業をした際、女性教師が運び終えた同生徒に女子生徒を手伝うよう声をかけたが、男子生徒は素通りした。担任教師が問いただしたところ、男子生徒は「聞こえなかった」と返答。学年主任も職員室で注意をした。</p> <p>翌朝、男子生徒は、「疲れた」と補習授業に行きたがらなかったが、担任教師から登校するようにと電話が入り、家族がタクシーで送り出した。男子生徒は登校せずに自殺。</p> <p>男子生徒は最近、耳の調子が悪く、病院で軽い難聴と診断されていた。校長は「難聴とはだれも知らなかった」と話し、県教委や学校は「行きすぎた指導はなかった」とした。</p> <p>1996/12/ 両親が長崎県弁護士会に人権侵害の申し立てをしたことに対し、同会は「教諭に不適切な言動があり、自殺の契機になった可能性がある」、「学校側と県弁護士会の調査結果の食い違いが大きい」とする報告書をまとめ、県教委、学校に再調査を要望。県教委の定例会で、「調査結果の相違点を中心に」調べて結果を出すことを決定。</p>	なし
36	1998/3/1	<p>群馬県の中学校で男子生徒(中2・14)が自殺。「もう生きていく自信がない。みんなに迷惑をかけてマジごめん」「ゴメン、オレのせいでみんなヤベーことになっちゃって……オレが死ぬ理由は、みんなに悪いから」などと書かれた遺書を残していた。</p> <p>2/21 同生徒は校内で、友人ら8人でタバコを吸い、学校から反省文の提出を求められていた。教師に友人の名前を告げたことで責任を感じていたという。</p>	なし
37	1998/11/4	<p>広島県高田郡美土里町で、男子生徒(中2・14)が自宅の車庫で首吊り自殺。</p> <p>同生徒は同日昼頃、学校で同級生とナイフで遊んでいて、あやまって相手の手に軽いけがをさせ、教師から注意を受けていた。</p>	なし
38	1999/8/6	<p>神奈川大学外国語学部スペイン語学科の女子大生(18)が、夏休みに自宅で宿題の長文暗記中に首吊り自殺。</p> <p>5月頃、担当の外国人教授が「今年度は50人中20人しか進学できない」と発言。毎日出される宿題も加わってふさぎこむようになっていた。</p> <p>両親は大学に教育内容の改善や対処について配慮を求める文書を送っていたが放置されたとして、提訴。</p>	なし
39	1999/11/27	<p>北海道名寄市の道立名寄農業高校の寄宿先の学校寮洗濯室で、酪農科の男子生徒(高2・17)が、体罰を受けた数時間後の夜中に首吊り自殺。</p> <p>11/26 夜、同校敷地内の寮で、男性教師(33)と男子生徒2人で、研究発表に向けた原稿を準備していた。午後9時過ぎ頃、生徒がテレビに気を取られていたことに腹を立てて、教師が足を蹴ったり、頭を叩いたりするなどの体罰を加えた。生徒にけがはなかった。</p>	あり
40	1999/12/4	<p>長崎県長崎市の私立海星高校の男子生徒(高2・18)がマンション屋上から飛び降り自殺。</p> <p>生徒は期末試験の1時限目テストでカンニングをしているのを教師に見つかり、答案用紙を没収され、その場で待機するよう指示されていたが、「トイレに行きたい」と言って教室を出た。マンション屋上にいるのを通報で駆けつけた警察署員が約10分間説得したが、制止を振り切って飛び降りた。</p>	なし
41	2000/1/16	<p>長崎県五島の富江町の中学校の男子生徒(中1・13)が、町内の倉庫で首吊り自殺。</p> <p>1/15 男子生徒は担任教師から服装などを注意され「なんで俺だけ注意されるんだ」などと反発。教諭ともみ合いになり、警察が駆けつけるなどの騒ぎになった。同日夜には、生徒は校長と担任教師に謝罪の電話をかけていたという。</p>	なし
42	2000/9/30	<p>埼玉県新座市立第二中学校の大貫陵平くん(中2)が、マンションから飛び降り自殺。「たくさん</p>	なし

		<p>バカなことをして もうたえきれません」「自爆だよ」など書いた遺書を残していた。</p> <p>前日、教師がお菓子の臭いに気づき、生徒たちに問いただしたところ、他クラスの生徒を含めて6人の名前が上がった。陵平くんはお菓子をもらって食べたことを自己申告していた。</p> <p>会議室で12人の教師が9人の生徒らから、お菓子を食べたかどうか、他にも食べた者はいないかなど、一人ひとりに確認し、その場にいない生徒の名前も何人かがあがった。また、ライターを学校に持ち込んで遊んでいた生徒がいたことも判明。</p> <p>翌日の夜、教師から自宅に電話があり、来週の学年集会の場で、リーダー格の生徒には、みんなの前で決意表明をしてもらうことや学校にライターを持ってきた生徒すべての保護者に学校に来てもらうことなどを話した。約1時間後に自殺。</p>	
43	2002/3/23	<p>兵庫県伊丹市の県立伊丹高校で、西尾健司くん(高1・16)が自宅近く建物から飛び降り自殺。</p> <p>3カ月前、学期の期末テスト時、隣の席の友人に頼まれて答案を見せた。カンニングと認定されて、友人と一緒に1週間の自宅謹慎処分(健司くんにとって初めての処分)を受け、反省文、反省日記を書くように指導される。12/13から書き始めた日記を、終業式の前日に突然、春休みも続けるように言われた。終業式のあと、校内のトイレでタバコを吸っているところを教師に見つかり、母親も学校に呼び出された。校長からは「ストレスがたまっただけは何や」、学年主任からも「家族も先生も裏切って」と叱責。生徒指導部長と担任にも叱られ、無期の自宅謹慎を通告された。家族で行く予定だったスキー旅行も禁止された。</p> <p>亡くなる直前の深夜、友人に、「前は1週間やったから、たぶんそれより長いと思う。最悪やわ」「今回1人だけ謹慎ってのが精神的につらい」「(先生たちは)あきれてたわ」など書いたメールを送っていた。</p>	なし
44	2002/3/25	<p>群馬県高崎市の東京農業大学第二高等学校(東京農大二高)ラグビー部員金沢昌輝くん(高2・17)が、合宿当日に自殺。</p> <p>ラグビー部の練習は長時間で、休みは年間10日程度だった監督からは激しく叱責された。</p> <p>ラグビー部の1年生時には、部員の上下関係により、一部暴力もあった。</p> <p>昌輝くんは1年生の9月に過呼吸の発作を起こし、その後も何度かラグビー絡みで発作を起こしていた。かなり激しい発作後も、練習に参加させられていた。学校は家族に過呼吸の発作を起こしたことを知らせていなかった。当日も発作を起こし、合宿の欠席を申し出たが、治ったら参加するよう言われる。すでに連絡があったことを知らないS監督が、マネージャーに昌輝くんの自宅へ連絡を入れさせた。昌輝くんは「これは策略だ」「あいつら人間じゃあないから」などと言っていた。</p> <p>死後、夏合宿頃から、指導陣の昌輝くんに対するプレッシャーがきつくなっていたことや他の選手のミスも昌輝くんのせいだとして怒ったり、「お前バックスとして駄目だよ」「使えねえ」などの言葉を浴びせたりしたことが判明。(特定の部員に注意が集中することを部員たちは、「ハメ」と呼んでいた)</p> <p>2005/9/1 前橋地裁で、グラウンドに生徒の名前などを刻んだ石碑をつくること、ラグビー指導に当たり、部員に体罰や差別的な取り扱いをしないこと、部員の健康や安全管理の徹底、スポーツ推薦で入学した生徒が部を辞めても退学しないこと、認める、などの内容で、和解</p>	なし
45	2004/3/10	<p>長崎県長崎市の市立小島中学校で、安達雄大くん(中2・14)が、ライターとたばこをもっていったことを担任教師に見つかり、指導途中、トイレに行くと言って、校舎4階の手洗い場の窓から飛び降り自殺。指導されていた部屋の机から、「オレにかかわるいろんな人 いままでありがとう ほんとにありがとう (友だちの名前)とりょうしん、他のともだちもゴメン」と書かれたノートが出てきた。雄大くんは、所属する部活が活動停止になるのを気にしていた。</p> <p>同校では、アンケートによる違反の告白や、他の生徒の違反を密告させる生徒管理・指導を行っていた。担任教師は月に2、3回程度の体罰を行っていた。</p> <p>のちに、市教育委員会は県教育委員会に、雄大くんの件を「転落死亡事故」と報告していた</p>	なし

		<p>が、両親に伝えないまま、「自殺」に変更する統計修正を県教委に出していたことが発覚。</p> <p>2008/6/30、長崎地裁で、「喫煙指導は不適切な面が認められるが、法律上の義務としての配慮義務又は防止義務に違反したとまでは言えない」とことや自殺の予見可能性を否定して棄却。一方、教師の指導と自殺との因果関係を認定。</p>	
46	2004/5/26	<p>埼玉県所沢市の県立所沢高校の井田将紀くん(高3・17)が、中間試験でカンニングを疑われ、母親の携帯電話に「迷惑をかけてごめん」とメールを送り、飛び降り自殺。</p> <p>将紀くんは中間試験2時間目の物理の試験中に、1時間目の日本史の試験に関するメモを机の上に出していたため、試験監督の教師に注意を受けた。</p> <p>試験終了後、個室で担任ら5人の教師が、約2時間にわたって「なぜ物理の試験中に日本史のまとめを読む必要があるのか」などと問い詰め、代わる代わる事情を聴いた。将紀くんは日本史のメモを提出。「(メモは)日本史の試験中には見ていない。物理の残り時間に勉強していた」と説明した。しかし、試験監督の教師は物理の記号が見えたと主張。教師らは「疑われるような行為はよくない」と指導したという。</p> <p>将紀くんは正午ごろから約2時間にわたって、教師5人に尋問されていた。その間、昼食や飲み物も与えられず、トイレ休憩もなかった。</p> <p>将紀くんの死後、学校は最終的に、カンニングがないことを認めた。</p> <p>2008/7/30 さいたま地裁で棄却判決、 2009/7/30 東京高裁で棄却判決</p>	なし
47	2005/10/4	<p>長崎県対馬市の県立高校の男子生徒(高1・15)が、道路横のガードパイプにロープをかけ首吊り自殺。友人関係の悩みなどを記したノートが生徒の部屋にあった。</p> <p>男子生徒は9月下旬から携帯電話のチェーンメールをめぐり、複数の生徒とトラブルになり、担任教師らが同日、男子生徒を指導。男子生徒は反省文を書いていた。</p> <p>担任らは母親を呼んで説明し、午後8時頃、母子で帰宅した。その後、担任が教室の黒板に「今までサンキュー」という言葉と生徒のイニシャルが書かれているのを見つけ、9時頃、電話で母親に生徒の様子に気をつけるよう、注意していた。</p>	なし
48	2006/3/16	<p>福岡県北九州市若松区の市立小学校の永井匠(たくみ)くん(小5・11)が帰宅直後に自宅で首吊り自殺。</p> <p>掃除中に、匠くんの振り回した新聞紙をまとめた棒が同級生の女子児童の顔に当たったため、担任の女性教師が「謝りなさい」と怒鳴った。しかし、匠くんが「謝った」などと反抗的な態度をとったため、上着の襟をつかんで持ち上げ、床に押し倒し、左腕をねじり上げるなどした。匠くんは泣きながらペットボトルを床に投げつけて、教室を出て行ったが担任は追いかけず、保護者にも連絡をしなかった。</p> <p>匠くんは前年秋から担任教師と折り合いが悪く、集中的に体罰を受けていた。「学校をやめたい」と泣きながら帰宅したこともあった。</p> <p>2009/10/1 福岡地裁小倉支部で、教師の体罰と自殺の因果関係を認め、市に約880万円の賠償を命じる。遺族は「学校災害として申請をしたのに、センター側は北九州市からの報告を元に死亡見舞金を支給しなかった」として提訴していたが、独立行政法人日本スポーツ振興センターに満額の2800万円の支給を命じる。</p> <p>2010/5/21 福岡高裁で、市が責任を認めることで和解。市は教諭の行為を「総合的に見れば適切さを欠いており、自殺を防止できなかった」としたものの、体罰とは認めなかった。</p> <p>4</p>	あり
49	2006/10/18	<p>鹿児島県奄美大島の公立中学校で、男性教師(37)が不登校になっていた女子生徒(中1・12)の自宅に上がりこみ、かぶっていた布団を引き剥がして「学校に行くのか、行かないのか」と迫った。直後に女子生徒は自殺未遂。</p>	なし

		2006/6/ 女子生徒は部活動を巡って、顧問の女性教師(25)から全部員の前で叱責され、退部。2学期から学校に行かなくなっていた。	
50	2006/11/1	兵庫県尼崎市の市立中学校の男子生徒(中3・14)が、マンションから飛び降り自殺 10/31 午前、男子生徒は担任教師から呼び出され、友人関係などについて指導を受けていた。生徒指導の担当教師や母親も加わって、2、3時間話し合ったあと、教師らの指示で、授業を受けずに帰宅した。 11/1 同級生らによると、この日も元気がなく、午前の授業中に「遺書でも書こうかな」と話していたという。	なし
51	2007/2/1	千葉県松戸市の市立中学校の男子生徒(中2・14)が、マンションから飛び降り自殺。 男子生徒は2年生の1学期頃から、所属する吹奏楽活内で「疎外感を感じる」と顧問に訴えていた。 1/20 男子生徒は、勉強との両立の難しさや体力的な理由を挙げて、「部活動をやめたい」と顧問に申し出ていた。 1/31 昼休みの教室で、1年生の頃からいじめの被害にあっていた同級生に対し、生徒数人が次々と肩をたたき「肩パン」をし、同級生は転倒して肩の骨を折った。被害生徒は担任に連絡した際、「暴行に加わったのは5人だ」と言い、男子生徒の名前をあげなかった。 4人の教師が、この5人を指導する中で、男子生徒を含む3人の名前が挙がり、加担したのは計8人であることが判明。男子生徒は、呼び出されて指導を受け、最初に被害生徒に謝罪した。教師らは「もし私だったら耐えられない。最低のことをしたんだよ」「やったことは消しゴムで消せない。この後どうすればいいのか考えなさい」などと指導したという。 2/1 いじめられた生徒の母親の求めで、学校で暴行に加わった生徒らが母親に謝罪する予定になっていたが、男子生徒は体調不良を理由に学校を休んでいた。母親の留守中に、男子生徒は被害生徒の住んでいるマンションに行き、飛び降りた。 ノートには、いじめ被害者の生徒の名前と「ごめんね」の文字が残されていた。 男子生徒は、2年生前期までの1年間、生徒会の役員を務めていた。	なし
52	2007/2/26	大阪府豊中市の私立大商学園高校の体育館内3階の放送室内で、岸祐太郎くん(高1・16)が柔道着の帯で首吊り自殺。 祐太郎くんは前日、教室で自分の首を柔道着の帯で絞めて同級生に制止され、担任教師から「そんなことしたらあかん」などと声をかけられていたが、遺体発見の午後にはじめて校長らに伝えられた。 祐太郎くんは学校の指導方針に不満をもらしていたほか、校内トイレであった不審火に絡んで犯人と疑われて疲れていたようだったと家族は話す。学校側は「調査はしたが、放火を疑った事実はない」と否定。	なし
53	2007/1/15	群馬県高崎市の高崎経済大学経済学部の女子学生(大2・20)が、川で入水自殺。 女子学生はゼミに2006年9月から参加するはずだったが、自主的に早めて6月ごろから参加。指導教官だった男性准教授(38)は8月にゼミの学生に課題を出し、12月に提出していない女子学生ら3人に、「1月15日までに課題を出さないと即留年」というメールを送った。 自殺当日、未提出の2人のうち女子学生だけに催促のメールを送っていた。 准教授は、女子学生が「レポートを提出できない。ごめんなさい」「留年すると分かっています。人生もやめます」「出来損ないの面倒を見させてすみませんでした。お世話になりました。ゼミ楽しかったです」などと、自殺をほのめかす内容のメールを送った後も、しばらく学生を捜さなかった。 出された課題は、アダム・スミスの重商主義批判の論点を説明させるなど10の設問から5つを選んでレポートすることと、新聞社説10本の要約とそれについてのコメントをまとめるという内容だった。大学側は「大学院生並みの難しい課題。ある課題がこなせなかったというだけで即留年というもおかしい」とする。	なし

		准教授は、他の学生に対しても人格を否定するような暴言やセクハラ発言などがあったという。また、2005年まで勤務していた別の大学でも、指導していた学生の休学届に対応しなかったり、学生ともめて指導を放棄したり、勤務時間中に無届けでスポーツジムに通っていたことなどを理由に停職処分を受け、その後、依願退職していた。 2007/4/9 准教授を懲戒免職処分。管理責任者の学長を減給10%(2カ月)、経済学部長を同(1カ月)とした	
54	2007/10/27	青森県八戸市の八戸工業高校の男子生徒(高1・16)が、所属していたラグビー部でのいじめとそれに関連した同部顧問教諭の不適切指導により、睡眠障害や抑うつ症状を発症し、自宅で自殺。 2004/4/ 男子生徒はラグビー部には顧問教諭の勧誘で同校に入学し、ラグビー部に入部。しかし入部直後から、部内でいじめを受けるようになり、5月には退部を決意。顧問教諭に相談したが、「退部するなら退学しろ」と言って引き留めていた。 2011/4/ 両親は、校長やラグビー部の顧問の教師を相手に提訴	なし
55	2008/3/15	秋田県潟上市の市立天王南中学校のトイレで、女子生徒(中1・13)が首吊り自殺。そばにあったスケッチブックには、自分を責めるような内容が書かれていた。 3/13 女子生徒は、部活動の入退部をめくり、同じ学年で友人の女子生徒に対し、傷つける内容の携帯メールを送信していた。メールを受け取った友人の保護者が学校に相談。男性担任教師が1時間目の授業中、別室で女子生徒を指導したうえ、両親を学校に呼ぶことなどを話したという。女子生徒は反省した様子だったが、両親が中学校を訪れた午後6時ごろには、すでに姿が見えなくなっていた。 亡くなった女子生徒は成績も優秀で生徒会役員も務めていた。まじめで、責任感も強かったという。 同校の校長は「いじめもなく、指導も通常の範囲であり、自殺との因果関係はないと考えている」と話した。	なし
56	2008/3/21	長野県塩尻市の県立田川高校の教室で、男子生徒(高2・17)が黒いネクタイで首吊り自殺。学校は入試準備などで長期の休みに入っていたが、この日、男子児童は数学の補習を受ける必要があったが、欠席していた。2007年夏から、元気がなく、遅刻や欠席がやや多かったという。 3月18日付けの本人のブログに、「むちゃぶり 自分の課せたまを分かっているのか？ 3日で片付く量じゃないだろう。何考えてやがるんだ。無茶苦茶だ・・・。」などと書いていた	なし
57	2008/4/3	北海道紋別郡遠軽町の町立丸瀬布小学校の今野彩花さん(小6・11)が、女性担任の行き過ぎた指導を苦に、自宅トイレで首吊り自殺。 小学校5年生時の女性担任は、夏休みの図形の宿題を角度が少しずれているという理由で、同じ問題を2か月半書き直しをさせるなどした。また、忘れ物をした児童は20分間しっ責され続けるなどすることがあり、彩花さんは「忘れ物をするのがこわい」と話していた。 6年生でも同じ教師が担任をすることになった初登校の前日に自殺。 約2年後、学校の事故報告書で、彩花さんの自殺が、多臓器不全で死亡と報告されていたことが発覚。両親が教育委員会に何度もかけあい、ようやく自殺に訂正。しかし、文部科学省の数字は訂正されない。 2011/10/ 両親が、同と町に損害賠償を求めて提訴	なし
58	2008/7/14 未遂	北海道富良野市の道立高校で、校舎4階教室窓から女子生徒(高1)が飛び降り、手足の骨を折る重傷。 生活指導担当教師が午前11時ごろから3時間半にわたって、友人同士でのメールのやりとりについて女子生徒から話を聴いていた後、女子生徒は保健室で休養を取って教室へ戻り、昼休み中に飛び降りたという。	なし

59	2008/7/20	<p>北海道の道立稚内商工高校の今野匠くん(高2・16)が、携帯電話の掲示板にほかの生徒の中傷を書き込んだとして、計6人の教師らから約3時間にわたって事情を聞かれ、停学処分</p> <p>の連絡を受けた後、自宅で首吊り自殺を図る。8/4 死亡。</p> <p>匠くんはノートに、「償いについて自分は死ぬべきだと思う」「自分は殺す。死ぬ。と軽々しく書いたので(中略)ケジメをつけるために死のうと思う」「おれって先生たちにも信用なかったんだね」「お前の罪は重いと。死ぬと。他の先生からは、お前はバカか?と言われました」「罪が重すぎて自分には耐えられない」「僕に停学は重すぎる」などと書いていた。</p> <p>学校は「本校の職員がそんなことを言うはずがない。事実と違うことを書いている。指導は適切だった。事情聴取が本人を追い詰めたとは考えられない」と記者会見で話した。</p> <p>2011/ 両親が、長時間にわたる教諭の指導が自殺の原因として、道に約8700万円の損害賠償を求めて提訴。</p>	なし
60	2009/1/19	<p>福岡県福岡市の市立内浜中学校の男子生徒(中1・13)が、登校中に自宅近くのマンションから飛び降り自殺。</p> <p>2008/6/17 男子生徒は、所属する運動部の顧問でもある担任教師(37)から理科準備室に呼び出されて、1時間以上にわたって「(同級生の)上履を隠したのはお前だろう」と問い詰められたが、認めなかったため、ひざを4回けられ、げんこつで頭を1回たたかれた。</p> <p>男子生徒は母親に、「否定したのに、何を言っても信じてもらえない。帰り道で車に飛び込んで死のうとしたけどできなかった」と泣きながら訴えた。</p> <p>2日後、担任と校長、母親で話し合い、体罰があったことを確認。担任は謝罪した。</p> <p>2009/1/15 男子生徒は初めて遅刻して登校。音楽の教材を忘れた。</p> <p>1/16 別の教材を忘れた。担任はクラスで「2回忘れ物をするとうげんこつ」というルールを設けていたため、「帰りの会」でほかの生徒の前で生徒の頭をげんこつでたたいた。</p> <p>生徒の携帯電話には、1/17 付けで友人にあてて、「部活さぼった 先生がまたなぐった 電話していい?」と書いた未送信メールが残っていた。</p> <p>1/19 学校は記者会見で自殺の原因について「思い当たることはない」と繰り返していた。</p> <p>1/20 通夜で、母親から「体罰と自殺の関係を調べてほしい」と要望されたことを受けて、初めて市教委に体罰の事実を報告した。</p> <p>市教委は、体罰と自殺との因果関係は考えにくいとしていたが、日本スポーツ振興センターは遺族に対し、死亡見舞金を支給。</p>	あり
61	2009/5/29	<p>埼玉県の私立高校の校舎から、男子生徒(高3)が飛び降り自殺。</p> <p>この日、1学期の中間試験で、男子生徒のカンニングが発覚。試験終了後、試験監督の教師が男子生徒を職員室に連れて行く途中、生徒指導主任の教師に会った際、教室にひとりでカバンを取りに行くよう指示されたが、男子生徒はホームルーム中の教室には行かず、4階まで上がって、廊下の窓から飛び降りた。</p> <p>同校では、カンニングをした場合、すべての試験科目が0点になることが決まっていた。</p> <p>両親が学校に損害賠償を求めて提訴。同時に、高校生の自殺は故意として給付が認められないことに対して、スポーツ振興センターを提訴。</p>	なし
62	2009/7/15 未遂	<p>佐賀県小城市の市立中学校で、「女子トイレに落書きがあった」として、担任教師に事情を聞かれた女子生徒(中1)が、校舎2階から飛び降り、前歯を折るけがをする。3日間の入院。</p> <p>7/14、女子トイレの壁に6つの相合傘にイニシャルのような文字や「LOVE」の文字が濁るように落書きが発見された。「帰りの会」の時間に、学校側はこのトイレを使っている1年生3クラスの女子全員を体育館に集め、教師が落書きをしたものは名乗り出るよう呼びかけたが、反応がなかった。学校は集会後、男子生徒を含めた1年生全員に匿名アンケートを実施し、目撃情報を記すように促した結果、女子生徒を含む13人程度の名前があがった。教師5名が手</p>	なし

		分けて事情を聴いた。7/15 対象を6人に絞り込んでさらに話を聴き、内2人がシャープペンシルで女子生徒が字を掘っていたのを見た証言。名指しされた女子生徒は否定したが、証言した生徒2人を伴って、トイレに連れて行った。担任は目撃者の2人をトイレから出し、一対一で女子生徒をただしたところ、落書きを認めた。その後、副担任が2階の学習室で一対一で事情を聞き、数分席をはずしたところ、部屋の真下に倒れているのが発見された。事故報告書には、事故原因について一切書かれていなかった。	
63	2009/8/21 未遂	京都府亀岡市の市立南桑(なんそう)中学校で、男子生徒(中1)が、別の校舎とつながっている野外の渡り廊下から飛び降り、意識不明の重体。 同生徒は朝から部活動と補習授業に参加したあと、校内1階のカウンセリングルームで、生徒指導の男性教師(31)から30分にわたり、夏休みの生活態度について一対一の生徒指導を受けていた。教師が部屋を離れた際に、男子生徒は教室を抜け出し、捜していた教師や教頭の目の前で飛び降りた。	なし
64	2011/6/9	愛知県の県立刈谷工業高校の山田恭平くん(高2・16)が野球部顧問から呼び出された2日後に練炭自殺。 5/末 恭平くんは、部室で禁止されているトランプをしていた部員らが、顧問教師から殴る蹴るの暴力を受けるのを見て強いショックを受けた。野球部を辞めたいと顧問らに申し出たが、「逃げているだけやろ」と言われ、退部届は受理されなかった。恭平くんは野球部の練習を無断で休むようになっていた。 6/7 顧問から主将を通じて呼び出された。翌日、恭平くんは学校を休み、その後、行方不明になった。 学校が作成した事故報告書には、間違いや、家庭の事情などに明らかな嘘が書かれていた。	なし
65	2012/10/29	広島県東広島市の市立高美が丘中学校の男子生徒(中2・14)が、市内の公園で首をつって自殺。 10/29 朝、男子生徒は美術の授業で使うカボチャを隠すいざらをしたとして、担任教諭らから指導を受けたあと、所属する野球部顧問から部活動への参加を認められずに下校した。教委は「教諭の指導に、体罰や暴言などの行き過ぎた行為はなかったと考えている」としている。	なし
66	2012/12/23	大阪府大阪市の市立桜宮高校の男子生徒(高2)が自殺。 男子生徒はバスケットボール部のキャプテンをしていたが、顧問の体育教師にあてて「顧問の教師から顔を叩かれたなどの体罰を受けてつらい」などと書いた手紙と遺書が残されていた。 男子生徒は自殺する前日にも顧問教師から体罰を受けていた。 この教師については以前にも、市教育委員会に、体罰をしているのではないかという情報が寄せられたが、学校からは「体罰はなかった」との報告があったという。	あり
67	2013/1/25 未遂	岐阜県多治見市の市立中学校内の自習室で、男子生徒(中2・14)が首に電気コードが巻いて自殺を図り、意識不明の重体。 男子生徒は、午後1時45分ごろから、自分のクラスの5時間目の授業には出席せずに、自習室で1人で担任ら複数の教諭から交代で生活面の指導を受けていた。担任教師は2時10分ごろに部屋を離れ、別の教諭が2時35分ごろ、生徒の異変に気付いたという。 市教育委員会は、担任教諭や生徒の両親への聞き取りの結果、生徒の周辺で、いじめや体罰はなかったとしている。	なし

1 判例時報 613号 30頁、判例タイムズ 328号 114頁、

2 判例時報 1487号

3 判例時報 1713号 84頁、判例タイムズ 1024号 140頁

4 判例時報 2067号 81頁、判例タイムズ 1321号 119頁